

令和 6 年度第 3 回岐阜市一般廃棄物処理施設用地選定委員会

日 時	令和 6 年 7 月 16 日（火）14 時 00 分から 14 時 45 分まで
場 所	岐阜市役所 10 階 10-1 会議室
出席委員	沢田和秀委員、下川吾朗委員、肥後睦輝委員
次 第	1 開会 2 報告及び協議事項 （1）当委員会における評価方法【継続審議】 資料 1 （2）各候補地の配置計画図について 資料 2 3 閉会
資 料	議事次第 座席表及び委員名簿 岐阜市一般廃棄物処理施設用地選定委員会規則 資料 1 当委員会における評価方法（案） 資料 2 各候補地の配置計画図

1 開会（14 時 00 分）

○事務局

定刻になりましたので、ただいまから第 3 回岐阜市一般廃棄物処理施設用地選定委員会を開会します。

本日、委員 4 名のうち 1 名が欠席となっておりますが、過半数が出席されているため、岐阜市一般廃棄物処理施設用地選定委員会規則第 5 条第 2 項の規定により、本委員会が成立していることをご報告します。

それでは、これ以降の進行につきましては、委員長をお願いします。

○委員長

本日もよろしくお願いします。

本日は協議事項が 2 つあります。次第に沿って進めます。

2 報告及び協議事項

○委員長

まず 1 つ目、（1）当委員会における評価方法について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

（資料 1 に基づき説明）

○委員長

ただいまの説明について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

(意見等なし)

前回から表の下部の赤色の枠で示されたところが大きく変わったと思います。

それでは提案のとおりでよろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。

○委員長

それでは2つ目、(2)各候補地の配置計画図について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

(資料2に基づき説明)

○委員長

ただいまの説明について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

○委員

今回承認した資料1の評価基準で選んでいく中で、仮に同じ点数になった場合、例えば自然の改変度で植生自然度が同じような値であった場合、詳細な中身をさらに比較するのでしょうか。

もう一つ、最終的な報告書の中で、自然の改変度は◎(自然度7～10が0%)と単に記載されるのか、それとも実際の植生等の状況についても記載されるのでしょうか。

○事務局

1点目の評価が同じになった場合について、例えば、自然の改変度が3箇所の候補地とも◎だった場合、評価は同じでよいと考えています。

2点目について、自然の改変度は、環境省が出している植生自然度を基に評価しますが、実際現地に行くと植生等の差はあると思いますので、報告書にその点の記載を考えております。記載内容については、ご意見をいただきたいと思います。

○委員

候補地の地元の感触はどうですか。

○事務局

3箇所の候補地とも、地元の自治会連合会長に説明をしております。全ての方に賛同を得

られるとは思っておりませんが、好意的な意見もあれば、否定的な意見もありますので、今後、協議を進めていく中で、地元の方には丁寧に説明していきたいと考えております。

○委員

搬入道路の長さは公道からの距離でしょうか。

○事務局

候補地１と候補地２の資料で搬入道路の始まりが見切れていますが、候補地１の方は片側１車線の道路からの距離、候補地２についても公道からの距離です。

○委員

候補地１の搬入道路に元々ある道路は私道でしょうか。

○事務局

私道ではなく岐阜市道です。搬入道路の距離は、片側１車線の大きい道からの距離、新たに搬入道路として開発をしなければいけない距離を記載しています。

○委員

下水道処理区域までの下水配管整備費用を評価するということは、河川放流しないという方針でしょうか。

○事務局

第１回委員会、地元自治会連合会長及び岐阜市一般廃棄物処理施設アドバイザーの意見を踏まえて、下水放流を前提に考えております。

○委員

処理施設から下水道処理区域までどのように結ぶのか。側溝か土管か。それはこの計画道路に沿って敷設されるのか。

○事務局

基本的に配管を考えているが、工法については決まっていない。状況によって自然流下でなくポンプ圧送も考えられる。主に公道に沿ってできるだけ短く、適切な配管を敷設します。

○委員

ポンプ圧送と比較して自然流下させるほうが安いと思う。ポンプ圧送が必要な場合、経済性はどうか考えたらいいでしょうか。

○事務局

3箇所の候補地を評価する段階において、全く異なる地域という話であれば状況は変わりますが、3箇所すべて近い位置にあり、下水道処理区域までの距離に大きな差がないため、配管の敷設距離の算定でよいと考えます。

○委員

3箇所の候補地からは、下水道処理区域までポンプ圧送ではなく自然流下ということでしょうか。

○事務局

現状、近くにある大杉最終処分場ではポンプ圧送しており、3箇所の候補地においてもポンプ圧送になる可能性があります。

ポンプ圧送に係る費用は、最終処分場全体の施工規模に対して影響する金額ではないため、下水道配管の整備費用を評価します。

○委員

当時、大杉最終処分場を選定するときに、今回の項目以外に考慮したことはありますか。

○事務局

当時も評価基準を設けておりましたが、庁内で候補地を選定しており、委員会は開催しておりませんでした。

○委員

出来上がった後に問題になった事例はないでしょうか。

○事務局

現在も地元の協議会に本市の職員が出向いて水質検査の結果等を報告しており、その場で意見等を伺っております。これまで大きな問題になったことはありません。

○委員

山の上の方の法面や尾根付近の土地はそのまま残ると思いますが、土地の所有者から要望があった場合に、市と交渉、市が取得する余地はありますか。

○事務局

配置計画図周辺の土地に関しましても、必要な場合は、検討する余地はあると思います。

○委員

公共事業として、非常に重要な観点だと思いますので、土地の所有者からの要望に対して融通を利かせてもらいたいと思います。

○委員長

他にいかがですか。

(意見等なし)

それでは、ご意見出尽くしたようですので、各候補地の配置計画図について、事務局の提案のとおりに進めることとします。

これで協議を終了したいと思います。それでは事務局にお返しします。

3 閉会 (14 時 45 分)

委員長、議事進行ありがとうございました。また、委員の皆様、貴重なご意見をありがとうございました。閉会后、審議承諾書にご署名をお願いします。

次回、第4回委員会は、8月に開催を予定しております。委員の皆さまにはご出席賜りますようお願い申し上げます。それでは、これをもちまして第3回岐阜市一般廃棄物処理施設用地選定委員会を終了します。本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。